

NEWS RELEASE (2021年12月1日) 取材依頼

鹿児島大学医学部保健学科が「オンラインヘルスラボ」を開設

Kagoshima University Online Health Laboratory - KU-OHL -

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。この度、本学医学部保健学科では、『オンラインヘルスラボ (KU-OHL) 』 (<https://www.ku-ohl.com/>) を開設し、12月1日から、地域の皆様を対象として、一般登録会員の募集を開始いたします。

つきましては、ぜひ、取材・報道いただきますようお願いいたします。

【オンラインヘルスラボ (KU-OHL) の概要】

鹿児島大学医学部保健学科オンラインヘルスラボ (Kagoshima University Online Health Laboratory: KU-OHL) は、種々の健康関連指標が収録されたヘルスデータ基盤を搭載したシステムです。

若年～高齢層の幅広い世代の住民を対象に、個々のヘルスデータを「見える化」した状態でフィードバックすることを可能とすると同時に、健康管理に役立つ情報や公開講座の案内などの配信を行い、多方面から健康支援を行います。

KU-OHL では、登録会員（主に鹿児島県内在住の成人）を対象にオンラインアンケートを実施し、得られた回答情報を分析し、その結果をヘルスデータとして登録会員にお知らせします。登録会員はマイページで自身のヘルスデータを参照することが可能です。また、KU-OHL では、月に2回の健康情報の配信を行う他、健康チェックや公開講座、研究参加者募集の案内など、会員の皆様の健康管理に役立つ情報をお届けします。



The pamphlet features a green background with a white heartbeat line graphic. At the top, it says 'ミチカナキツキ' (Mitsukana Kitsuki) with a hand icon pointing to a screen. Below that, the title '鹿児島大学医学部保健学科' (Kagoshima University Faculty of Health Sciences) and 'オンラインヘルスラボ' (Online Health Laboratory) is displayed. The text describes the service as an internet-based system for health data and management. It lists features like 'HP トップページ' (HP Home Page), 'オンライン健康チェック' (Online Health Check), and 'KU-OHL 登録者特典' (KU-OHL Member Benefits). A QR code and contact information are at the bottom.

KU-OHL パンフレット

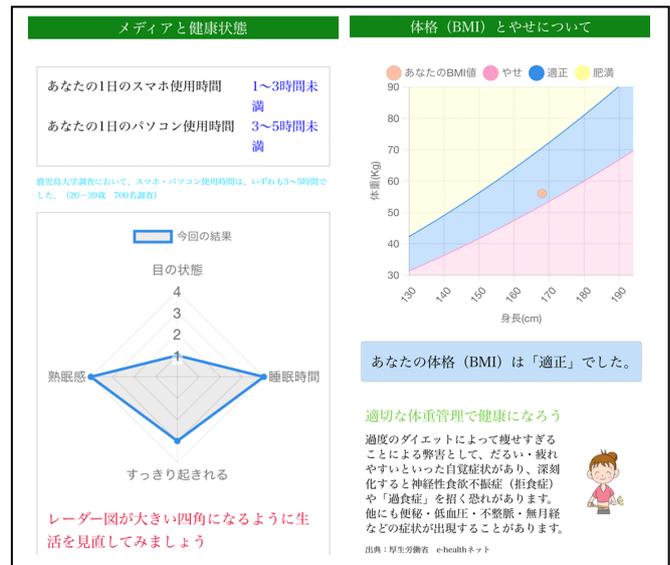
【オンラインヘルスラボ (KU-OHL) 発案の経緯】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で健診受診率の低下が問題視されており、非接触（オンライン）での健康関連指標のデータ収集は、感染予防の観点からも重要な役割を担うものと考えます。若年期、中年期、高齢期のそれぞれで特有の健康問題が存在し、それらに早期から対処するためには、まずは気づきが大切となります。その気づきのきっかけとなることが KU-OHL の役割の一つであると考えます。本事業は、医学部保健学科の3専攻（看護学・理学療法学・作業療法学）による合同プロジェクトとして実施いたします。

【見込まれる効果】

KU-OHL の登録会員は、マイページで自身の回答結果を視覚的にとらえることができ、健康や生活状況を見直す機会になり、健康的な生活習慣の確立の補助になるものと考えます。

また、健康情報の定期的な配信を通じて継続的な健康支援が可能となります。



マイページでのヘルスデータの見える化フィードバック

【社会への貢献】

コロナ禍での身体活動量の減少や生活リズムの不規則化などの生活習慣の悪化が問題視されています。このような状況が長期間継続すると、諸々の二次的な健康被害の発生が懸念されます。KU-OHL では、オンラインで自身の都合の良い時にアンケートに回答することができ、生活行動や習慣を見直すことで健康の自己管理に寄与します。コロナ禍での健康支援施策の一つとして社会への貢献が期待されます。

【SDGs への貢献】

KU-OHL では、SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) に掲げられている 17 の目標のうち、以下の 3 つについての貢献が期待されます。

◎すべての人に健康と福祉を

特に生活習慣病予防や介護予防を意識した健康支援の自助の促進や地域での健康支援体制の構築に寄与することが期待できます。

◎住み続けられるまちづくりを

KU-OHL を基盤とした地域での健康支援事業の展開や地域イベントの活性化などを通じて、豊かなまちづくりのきっかけとなることを期待できます。

◎パートナーシップで目標を達成しよう

KU-OHL を基盤としたヘルスデータプラットフォームの構築が可能となります。地元企業とのパートナーシップによる健康支援方法の開発や機器開発による効果検証などの研究事業への展開が期待されます。

【今後の展開】

将来的には医療費・介護費などのデータとの連結を想定した多世代型健康支援プラットフォームを目指します。また、本事業に賛同の企業や自治体などとの共同研究や独自事業としての展開や活用が期待されます。

【問合せ先】

(研究内容に関すること)

牧迫 飛雄馬 教授
鹿児島大学医学部保健学科
理学療法学専攻（基礎理学療法学）
TEL 099-275-6775
E-mail makizako@health.nop.kagoshima-u.ac.jp

(報道・広報に関すること)

鹿児島大学医歯学総合研究科等総務課総務係
TEL 099-275-6015
E-mail isgsoumu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、取材は可能な限りオンラインでの実施をお願いいたします。

対面での取材を実施される際は、基本的な感染防止策、特に感染防止の3つの基本（人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗い）や「3密」（密集、密接、密閉）の回避等を徹底していただきますようお願いいたします。